

選挙公報

西区選挙区(定数4人)
さいたま市選挙管理委員会

責任と実行力。現場第一主義!!

上三信 うえさんのぶ
あきら

子育てを応援! 子育てするならさいたま市!

- 高校3年生までの医療費無償化を拡充します!
- 市立学校体育館にエアコン設置100%を実現します!
- 放課後児童クラブの待機児童解消を目指します!

健康長寿を応援! 長生きするのもさいたま市!

- 高齢者の移動・おでかけ支援制度を実現します!
- 地域包括ケアシステムを推進します!
- 駅や公園等に防犯カメラ設置を推進します!

国とも連携! 西区のまちづくりを推進!

- 荒川の流域治水対策を力強く推進します!
- JR川越線の複線化を推進します!
- 首都高速埼玉大宮線の整備を推進します!

実現1 政令市初の中学校3年生まで医療費無償化を実現。

実現2 長寿応援ポイント制度やセカンドライフ支援センターを創設。

実現3 西大宮駅の新設や指扇駅橋上化による北口の開設を推進。

災害に強く活力ある西区を創る!

上三信あきらへのアクセスはこちから



プロフィール
 ■昭和33(1958)年生まれ。64歳。
 ■創価大学経済学部卒業。20年間のサラリーマン生活を経て、平成15(2003)年4月、さいたま市議会議員に初当選。現在5期目。
 ■党県幹事長代理
 党さいたま総支部長



敵基地攻撃能力の保有 防衛費を5年間で43兆円 壊す 岸田大軍拡・大増税にNOの審判を

他国を攻撃すれば日本への報復攻撃で市民が犠牲になります。軍拡財源は、増税と社会保障費の削減になることは必至です。さらに、43兆円あれば学校給食費無償化を100年続けることができます。

平和の準備こそ軍事対軍事の悪循環では戦争の危険が増すばかり。ぐらしはますます犠牲に。日本共産党は徹底した対話と外交の力で、アジアに平和の枠組みをつくります。

こんどこそ西区から日本共産党の議席を

老後満足に介護を受けられない人や、障害を持ちながら毎日必死に生きる人。市政に足りないのはお金ではなく私たち市民を思いやる福祉の心です。そのすべてを自己責任にする政治を私は何としても変えていきます。

市議会議員候補 大塚たけひで

大型開発よりくらし応援、福祉の抜本拡充
くらし応援4つのゼロ

- ①水道料金基本料半年間ゼロ
- ②学校給食費ゼロ
- ③18歳まで医療費ゼロ
- ④子どもの国保税(均等割)ゼロ

高齢者・障がい者に
やさしいさいたま市に
 ①介護保険料の負担軽減
 ②高齢者の補聴器購入補助
 ③高齢者医療費2倍化中止

交通は人権
コミュニティバスの充実・土日運行

ジェンダー平等
男女賃金格差の是正

力をあわせ政治を変えよう
消費税を5%に減税を

日本共産党

上
うえ
さん
の
信
ぶ
あきら

プロフィール

- 昭和33(1958)年生まれ。64歳。
- 創価大学経済学部卒業。20年間のサラリーマン生活を経て、平成15(2003)年4月、さいたま市議会議員に初当選。現在5期目。
- 党県幹事長代理
 党さいたま総支部長

プロフィール
 ■2019年さいたま市議会議員初当選
 ■唯一の現役ママ議員(子どもは小・中学生)
 ■1981年京都市生まれ、立命館大学 国際関係学部 卒業
 ■東日本大震災を経験し、家族だけで子どもたちを守ることには限界があり、地域・社会全体で子どもを守り、支えていくことが必要だと考えるよう。

ここにっこりのさいたま市へ

2011年の東日本大震災、2019年の台風19号等の災害を経験し、地球温暖化対策、水害・防災対策などに取り組み、安心して気持ちよく住み続けられるまちづくりにより力を注いでまいります。

小中学生の母として子育てのリアルな声、子どもたちの思いを政策につなげています。また西区に住むみなさんのお困りごとやご意見をお聞きし、あなたともっとここにっこりのさいたま市と一緒に!

1 その子らしく育つための環境の充実

- プレイパーク(冒険遊び場)を身近な場所に
- 子どもたちの意見が反映される社会のために、子ども議会やアドボケイト制度の導入
- 不登校等で学校外で学ぶ経済的支援と居場所の充実
- ユースクリニックの設置
- 高等教育(大学、短期大学、専門学校など)の就学支援制度の充実



2 ママ、パパに寄り添った支援の充実

- 子育て家族の支援の充実
- ひとり親、多胎児、リトルベビー家族などの支援の充実
- 保育施設や学童・放課後デイ等の質と場の充実
- 医療的ケア児や障害児と家族の支援



3 あなたらしさが尊重される社会

- 家族を支えるケアラー、ヤングケアラーの支援
- 女性が様々なライフステージをしあわせに過ごせる支援



4 命と暮らしを守るさいたま

- 福祉ネットワークで支え合いを
- 水害に強いインフラの強化
- 誰一人取り残さない減災・防災



5 持続可能な社会のために

- 地産地消のエネルギー活用
- リユースしやすい教材や学用品を提案
- コミュニケーションバス等の交通手段の拡充



プロフィール

- 2019年さいたま市議会議員初当選
- 唯一の現役ママ議員(子どもは小・中学生)
- 1981年京都市生まれ、立命館大学 国際関係学部 卒業
- 東日本大震災を経験し、家族だけで子どもたちを守ることには限界があり、地域・社会全体で子どもを守り、支えていくことが必要だと考えるよう。

- 趣味は梅干しやかりん酒、お味噌づくり、読み語りボランティア、多言語活動など
- 防災士、立憲民主党埼玉県連若者局長、気候危機自治体議員の会、WOMAN SHIFT、生活クラブ生協組合員

立憲民主党 私も推薦します
立憲民主党 枝野幸男

活動報告

SNS

<https://izumokeiko.com/>いながわさとみは
西区94,625人
一人ひとりに
寄り添います。*さいたま市の記者発表資料より引用
(2023年3月1日時点の人口)いながわ
さとみ
自民党公認大塚たけひで
日本共産党

プロフィール

- 1974年生まれ●郵政省勤務後、やりがいを求めて介護の世界へ。介護福祉士、相談支援専門員●5人の子どもの子育て真っ最中●趣味:ピアノ(J.S Bach)・空手(黒帯)・旅行(温泉めぐり)・どじょうすくいおどり



いながわさとみの6つの使命と実績

1. コロナに負けない日常生活

- コロナ対応スタッフ(感染症対応看護師)の確保
- コロナ感染症自宅療養者への訪問看護支援金の創設(市単独事業)

2. 災害に強いハード・ソフトの整備

- 土屋川・新川・滴沼川等の河川整備
- 道路の拡張・整備・安全対策
- 水害時のマイタイムラインの普及

3. 安心して子育てができる、子ども達がのびのび育つまち

- 産後ケア事業の実現
- 通学路の整備
- ケアラー支援条例制定実現
- 市立ひまわり特別支援学校への転入学制度の創設

4. お年寄りが健やかに暮らせるまち

- いきいき百歳体操普及
- 乗り合いタクシー・コミュニティバスの運営支援
- グランドゴルフ・パークゴルフの普及

5. 女性が自分らしく活躍できる社会の実現

- 女性の健康問題についての講演の開催
- 女性が活躍できるためのインセンティブ付与制度の創設

6. 郷土を愛し、支え合いながら暮らせるまち

- 西区のお囃子やお祭りの伝統文化の存続・活性化
- 川越線複線化要望(35,166筆の署名の提出、協議会の設置要望)

連絡先
稻川智美事務所
〒331-0061
さいたま市西区西遊馬1272-1 (2F)
Tel: 048-621-1000
Fax: 048-778-9345
Email: inagawa.satomi@gmail.com

さいたま市選挙管理委員会では、投開票速報を次のとおり行いますのでご利用ください。

投票速報 4月9日(日)午前9時頃から
開票速報 4月9日(日)午後10時頃からホームページ <https://www.saitama-senkyo.com/>

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を原文のまま印刷したものです。



